

▲ 安全に関するご注意

ご使用前に取扱説明書をよくお読みのうえ正しくご使用ください。

- 火災、感電、ケガなどの事故を未然に防ぐため、ご使用前に取扱説明書に記載されている「安全上のご注意」をすべてよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
- 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を「▲警告」として記載しています。安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

▲ 警告

- 安全な作業をすすめるためには、作業場所は常にきれいに整理をし、十分な採光が必要です。散らかした作業場所は事故のもとです。
- お子様の手の届かない所に保管し、湿度の高い所、雨のかかる所、直射日光のあたる所は避けてください。
- 商品の運送上の衝撃等により、商品が破損したり、取付部品が外れたり、曲がったりする場合がありますので、ご使用前に必ず確認して正規の状態でご使用ください。また、お買い上げの際は、必ず確認してください。
- 運転中、機械の調子が悪かったり、異常に気づいた時は直ちに使用を中止してください。
- ご使用前には、本体各部のネジ類がしっかり締め付けられているか確認してください。
- 製品は、大事に扱ってください。誤って落としたり、ぶつけたりした場合は、異常の有無を確認してください。
- 騒音値は1m四方平均値です。
- 濡れた場所、濡れた場所での使用は避けてください。感電事故の原因になり、モーター絶縁を低下させます。
- 必ずアース(接地)してください。(二重絶縁構造品は除く)
- 揮発性可燃物(シンナー、ガソリン等)の近くでは、絶対に使用しないでください。危険です。
- 電圧は、銘板の表示と一致しているか必ず確認してください。
- 運転中は、機械の可動部に絶対に手を触れないでください。大変に危険です。
- 安全にご使用いただくために、使用後は必ず手入れ等のメンテナンスを行ってください。
- お手入れのときや使用時に水につけたり、水をかけたりしないでください。感電、火災の恐れがあります。
- 電源コードは、破損させたり、加工や途中での接続、他の電気器具とタコ足配線などしないでください。火災の原因になります。
- 自分で分解、改造、修理をしないでください。火災、感電、ケガの原因になります。修理はお買い上げの販売店にご依頼ください。
- ご使用にならないとき、清掃・点検のときは、差し込みプラグをコンセントから抜いてください。濡れた手で抜き差ししないでください。感電の恐れがあります。
- 付属品は取扱説明書に従って確実に取り付けてください。確実にないと、使用中に外れたりして、事故やケガの原因となる恐れがあります。
- 意欲な温度変化を与えると結露が生じ故障、誤動作の原因となります。結露が生じたときは、室内に置き、自然乾燥させてから電源を入れてご使用ください。

▲ 【冷房機器・除湿機】ご使用上の注意

- 本機は、周囲の温度が25℃以上45℃以下の環境でお使いください。25℃以下でご使用になると、冷風が結露し、本体破損の原因となります。(使用環境温度は各商品のアイコンをご参照ください。)
- フィルターの清掃はこまめに行ってください。フィルターが汚れていると本体内部が結露し、故障の原因となります。
- 濡れた手で差し込みプラグやスイッチ、配線等に触れないでください。
- 水をかけないでください。
- 配線工事は、有資格者が電気設備技術基準や内線規定に従って、確実、安全に行ってください。
- アースは必ず取り付けしてください。
- 灯油・ガソリン・シンナーなど引火性のものや、爆発の恐れのあるものの近くでは使用しないでください。
- アルミニウム・マグネシウム・チタン・亜鉛や化学物質・ガス・蒸気等の近くでは使用しないでください。
- 電圧は銘板の表示と一致しているか必ず確認してください。
- 火気に近づけないでください。
- 冷風ダクトや排熱ダクト、排熱口の中へ物を入れたり排熱口をふさがないでください。
- 補修、修理は純正部品を使用してください。
- 屋外・屋内での水のかかる場所では使用しないでください。
- 湿度の高い(45℃以上)ところでは、使用や設置をしないでください。
- 換気が行えない場所では使用しないでください。
- 直接油煙を吸い込まない位置に据え付けてください。油分などが付着するとプラスチック部分に亀裂が生じたり、熱交換器が腐食するおそれがあります。
- 本機は、防水構造ではございません。水がからまないようご注意ください。
- 引火性、爆発の恐れのある化学物質等の近くでは使用しないでください。
- 横倒しにしないでください。
- スポットクーラー及び、除湿機は製造年によってコンプレッサー出力・冷媒封入量が異なります。旧製造年数の商品をお持ちの方は「お客様相談窓口」へご連絡ください。

▲ 【工場扇・循環送風機】ご使用上の注意

- 長年ご使用の工場扇では、モーター、コード、コンデンサー等の電気部品の経年劣化による発煙、発火の恐れがあります。ご使用前に必ずご確認いただき、次のような症状がある場合は、すぐに使用を中止し、差し込みプラグをコンセントから抜いてください。
 - ・スイッチを入れても羽根が回らない
 - ・羽根が回っても異常に回転が遅かったり不規則
 - ・回転するときに異常な音がする
 - ・モーター部分が異常に熱くなる、コゲかい臭いがする
- ご使用になる前に、羽根やガードはしっかり取り付けられているか、ガードが変形して羽根に接触していないかチェックしてください。
- 電源コードが折れ曲がったり、破損していないか、時々チェックしてください。
- 運転中はガードの中へ手や物などを絶対に入れないでください。特に小さなお子様はご注意ください。
- ご使用にならないときは差し込みプラグをコンセントから抜いてください。

電源接続工事について**【三相200V製品お買い求めに際して】**

三相200Vの製品には、電源コード・電源プラグが付いておりません。(一部、電源コードのみ付いている製品がありますので、各製品ページにてご確認ください。) 製品の使用環境に合わせてお買い求めが必要になります。また、電源の接続には電気工事に必要になりますので、必ず電気工事士の有資格者、認定を受けた電気工事店にご相談ください。工事に不備があると、感電・火災の原因になることがあります。

※三相200Vの電源については、業務用電源【三相200V(動力、低圧電力)】の契約が出来ていることが条件となります。新規の設置時、動力の設備がない場合は、動力(三相200V)の電源工事が別途必要となります。既に動力(三相200V)の電源を契約してお使い頂いている場合でも、契約の変更等が伴う場合がありますのでお買い求めの前にご確認ください。

フロン排出抑制法への対応について**製品ご使用時の簡易点検について**

下記対象製品は、フロンガスが使用されています。フロン排出抑制法第一種特定製品(冷媒としてフロン類が充填されている業務用空調機器)により、管理者(所有者)またはユーザーによる3ヶ月に1回以上の簡易点検を行う必要があります。検査内容は、目視検査となり、熱交換器及び配管部分の異常音や振動、油にじみ、腐食、サビ、傷、霜付きなどとなります。詳しくは取扱説明書と同梱しております「フロン排出抑制法チェックシート」を参照してください。

【対象製品】スポットクーラー / 除湿機

製品の廃棄について**改正フロン排出抑制法が2020年4月1日に施行**

業務用空調機、除湿機等にはフロンガスが含まれております。フロンの大気放出は禁止されており、放出した場合はフロン排出抑制法の罰則対象となります。これらの機器を処分するには、フロンガス回収業者によるフロンガスの回収が必要です。所有者様により直接専門の回収業者(登録事業者)に委託し、適切に処理して頂きますようお願いいたします。登録事業者様に関しましては、各地方自治体の窓口へご確認をお願い致します。

【対象製品】スポットクーラー / 移動式エアコン / ミニクーラー / 除湿機

- 定期的な点検を心がけてください。
- 長期間コンセントに差し込みプラグを差し込んだままにすると、トラッキング現象[®]を起こして火災の原因になります。また絶縁劣化による感電事故や漏電火災が発生する危険があります。(※トラッキング現象:差し込みプラグとコンセントの隙間にたまったホコリが湿気を帯びて、火花が出ます。これを長い時間放っておくと、プラグの刃と刃の間に電気が流れて発熱し、発火する現象のこと。)
- 改造は火災・感電・ケガの恐れがありますので、絶対にしないでください。
- 分解・修理は火災・感電・ケガの恐れがありますので、修理技術者以外の人は修理をしないでください。修理はお買い上げの販売店にご連絡ください。
- ご使用中に、回転停止・異常音・振動・異臭等が発生した時は、直ちに使用をやめスイッチを切り、差し込みプラグをコンセントから抜いてください。
- 運転中は本機に近づかず、ネックタイ・手袋・カーテン等が巻き込まれないように注意してください。特に小さなお子様はご注意ください。
- 清掃・点検の時はスイッチを切り、差し込みプラグをコンセントから抜いてください。濡れた手でコンセントの抜き差しは感電の恐れがありますのでしないでください。
- 差し込みプラグの刃および、刃の取付面に付着したほこりは、火災の恐れとなりますので、きれいに拭き取ってください。
- 製品には、水や、洗剤等をかけたり、吹き付けたりすると漏電による、火災、感電の恐れがありますのでしないでください。
- 配線工事は、有資格者が電気設備技術基準や内線規定に従って、確実、安全に行ってください。
- 直接油煙を吸い込まない位置に据え付けてください。油分などが付着するとプラスチック部分に亀裂が生じるおそれがあります。

▲ 【冷風扇】ご使用上の注意

- 換気不十分な閉め切った狭い室内で使用しないでください。湿度が過度に上昇することがあります。
- 屋外、屋内での水のかかる場所では使用しないでください。
- 使用する水は、水道水をお使いください。
- 長期保管する場合、給水タンクの水を捨て、本体内部を清掃し、エレメントを十分に乾燥させてから、電源プラグを抜いてください。

▲ 【エアーカーテン】ご使用上の注意

- 設置面の強度を確認してから設置してください。弱い設置面に取り付けると落下事故や振動の原因になります。
- 屋外の雨水のかかる場所や直射日光下・高温多湿の場所・腐食性のガスが発生する場所には設置をしないでください。また、火気には近づけないでください。絶縁劣化による感電、漏電、火災、故障の恐れがあります。
- 床面から2.3m以上の高さの場所に設置してください。
- エアーカーテンを使用する場合、出入口をエアーカーテン遮断しますで室内は必ず換気を行ってください。
- 本体を取り付けた後は、必ず正常な運転ができるか、また本体の取付けが確実に振動・異常音がないか確認してください。